



アグアスだより



令和7年度2月号
令和8年2月3日発行

「3つの幸せ」の教え

早いもので、2月に入りました。今年度の子どもの登校日は、あと28日です。中学部3年生の中には、受験のために帰国している人もいますので、少し寂しいですが、登校してくる子どもたちは、先日のパルケマラソンで、自己ベストを目指して一所懸命に走るなど、充実したまとめの時期を過ごしています。どの子どもも落ち着いて学校生活を送ることができる幸せを感じてくれているとよいなと思います。

「幸せ」というと、イエローハットの創業者である鍵山秀三郎氏の「三つの幸せ」という言葉を思い出します。鍵山氏が提唱する「三つの幸せ」とは、まず「してもらう幸せ」、次に「できるようになる幸せ」、そして「してあげる幸せ」です。

まず、最初の幸せは、「してもらう幸せ」です。何かをもらったときに感じる嬉しさ、感謝の気持ちです。例えば、親が自分に何かをプレゼントしてくれたとき、友人が自分を助けてくれたとき、一瞬でも心が温かくなるのを感じます。それはただの物質的な恩恵ではなく、相手の思いやりや愛情が込められているからこそ、心に響くものです。

次に二つ目の幸せは、「できるようになる幸せ」です。これは特に成長する子どもたちにとって重要な体験です。子どもたちは新しいことを学ぶたびに、成長を感じ、その成果に喜びを見出します。初めて自転車に乗れたときや、簡単な計算ができるようになったときの喜びは、自己肯定感を育む大切な瞬間です。これらの経験は、子どもたちに自分の成長を実感させ、大人になってからも様々なチャレンジに挑む力を与えます。

そして三つ目、最も重要で美しい幸せが、「何かをしてあげる幸せ」です。自分が誰かのために行動し、その結果として相手が喜ぶ姿を見ることができるとこの幸せは、私たち人間の根本的な社会性に深く結びついています。他人の幸せが自分に返ってくるという相互作用は、私たちにとって心の充実感を与え、人間関係をより豊かにしてくれるのです。

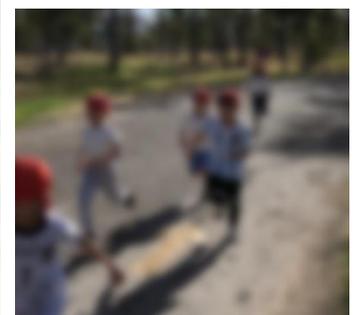
では、どうすれば「何かをしてあげる幸せ」を感じる人を育てられるのでしょうか。それには、前の二つの幸せをしっかりと体験させることが重要です。「してもらう幸せ」や「できるようになる幸せ」を十分に味わうことで、他者を思いやる心が育まれます。

「何かをしてあげる幸せ」を感じることでできるアグアスカリエンテス日本人学校の子どもたちを育てるために、御家庭で、子どもに温かい言葉をかけ、サポートし、成功を共に喜ぶことで、子どもに「してもらう幸せ」を感じてもらい、学校は、子どもたちが新しいことに挑戦し、それを実現できる環境を整えて、「できるようになる幸せ」を感じるようにしていきたいと思います。

これからも保護者の皆さまのお力添えをいただければ、非常に嬉しく思います。

(校長 山下 繁樹)

パルケマラソン大会



たくさんの御声援と運営への御協力を賜り
ありがとうございました。

研修について

令和8年度も残すところ1か月あまりとなりました。本年度も本校では、「国際性豊かで『知・徳・体』の調和のとれた児童生徒の育成」を教育目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでまいりました。

学校だより8月号でもお知らせしましたとおり、本年度は「表現力を高める学習指導の在り方～他者と関わる中で主体的に考え表現する授業づくり～」を研究主題として、校内研修を進めてきました。多様な文化的背景をもつ児童生徒が在籍する本校において、自分の考えを自分の言葉で伝え、相手の考えを受け止めながら学びを深めていく力は、これからの社会を生きるうえで重要な力であると考えています。

本年度は、研究主題の実現に向けて、小学校・中学校が一貫して、全教科において「振り返り」の取組を行ってきました。振り返りの合言葉として「わかとも」を設定し、児童生徒が学びを整理しやすいよう視点を共有しました。「わ」は学習を通して分かったこと、「か」は自分なりに考えたこと、「と」は友達との関わりの中で学んだこと、そして「も」はもっと知りたいことや次の課題を表しています。この4つの視点をもとに振り返りを行うことで、学習内容を振り返るだけでなく、他者との関わりや次への意欲につなげることを大切にしてきました。

授業の中では、振り返りを通して「友達の考えを聞いて考えが深まった」「次はここを調べてみたい」といった記述や発言が見られるようになり、学びを自分の言葉で表現しようとする姿が少しずつ育ってきています。また、小中学校で共通の視点をもって取り組むことで、学年や教科が変わっても、学びをつなげていくことができています。

本年度の校内研修では、特に「表現力の向上」を重視し、授業研究に取り組んできました。研究授業や事後研修を通して、児童生徒が自分の考えを自分の言葉で表現する場が適切に設定されていたか、また、友達との関わりの中で考えを深め、伝え

合う姿が見られたかといった視点で授業を振り返りました。振り返りの場面では、「わかとも」の視点を生かし、学びを整理し、次につなげる手立てについても協議を重ねてきました。

その一方で、「本校がめざす表現力とはどのような力なのか」「その力を育成するために、どのような授業づくりや支援が有効なのか」といった点について、さらに共通理解を深めていく必要があることも明らかになりました。来年度に向けては、本校が示す表現力の姿をより具体的に共有するとともに、学年や教科の特性に応じた取組の在り方について検討を進めていくことが課題であると考えています。

また、ミニ研修では、教職員同士が互いの経験や専門性から学び合う機会を大切にしてきました。本校に長年勤めているハイメ・ゴメス事務職員からは、学校の沿革やこれまで大切にされてきた教育の歩みについて話を聞き、本校への理解を深めることができました。大内教頭からは、ソーラン節の取組を通して育まれてきた子どもたち同士の絆や、行事が果たす教育的な意義について共有がありました。また、大島教諭からは遺跡発掘に関する話があり、社会科の学習のみならず、探究的な学びや物事を深く追究する姿勢の大切さについて学ぶ機会となりました。こうしたミニ研修を通して得た学びを、日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。

これまでの校内研修を通して得られた成果と課題を今後の指導に生かし、児童生徒一人ひとりが自分の学びを見つめ、他者と関わりながら成長できる学校づくりを進めてまいります。引き続き、保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

(学習研修部 白石 莉菜)

次のページも御覧ください。

2月予定行事予定

- 2月 3日(火) 節分集会
- 4日(水) 全校朝会
- 6日(金) 小学部新1年生体験入学
保護者説明会
- 11日(水) 後期クラブ⑦(最終)
- 12日(木) どこでも弁当
- 16日(月) 中学部後期テスト(~18日)
- 18日(水) 後期委員会⑦(最終)
- 19日(木) 音楽集会
- 20日(金) シェイクアウト訓練
全体保護者会
- 24日(火) 音楽集会
- 26日(木) ブロック朝会
- 27日(金) 授業参観
学級懇談会
中2進路説明会
PTA学用品受け渡し会

お知らせ

JOES Magazine「海外校シリーズ」に
本校が掲載されます。

2月9日(月)より掲載開始予定です。
ぜひこちらの URL より御覧ください。

[https://joes-
magazine.com/category/27](https://joes-magazine.com/category/27)

「R8 年間予定」を HP にアップロードい
たしました。なお、変更になる場合もござ
いますので、どうぞ御了承ください。
こちらのリンクからも御確認いただけま
す。

[https://drive.google.com/open?id=1Yw_
tjJIY_zPedpXMke3VD3EqfRF8XkVI&usp
=drive_fs](https://drive.google.com/open?id=1Yw_tjJIY_zPedpXMke3VD3EqfRF8XkVI&usp=drive_fs)